



じゃがいもずきん
「ききほう」くん

防災ワンポイント 第36回

火山について

気象庁の定める活火山は、全国に110、道内には31あります。そのうち「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要」とされる活火山には、噴火警戒レベルという指標が導入されています。このような火山は全国に34あり、道内では、有珠山、硫黄山（アトサヌプリ）、雌阿寒岳などの8火山が該当しています。

噴火警戒レベルとは、「警戒が必要な範囲」と「付近の人々がとるべき防災対応」を5つに区分したものであり、それぞれ「留意」、「火口周辺規制」、「入山規制」、「避難準備」、「避難」のキーワードとともに発表されます。

中標津町近くの活火山である、硫黄山と雌阿寒岳の現在の噴火警戒レベルは、「レベル1：活火山であることに留意」とされていますが、これに油断することなく、常に突然の噴火に備えるよう心がけましょう。



●噴火警報と噴火警戒レベル（出展：気象庁ホームページ）

種別	名称	対象範囲	レベルとキーワード		説明		
					火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及び それより 火口側	レベル5 避難		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法を判断）。	
					居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要（状況に応じて対象地域を判断）。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで 火口周辺	レベル3 入山規制		居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制）。状況に応じて要配慮者の避難準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等（状況に応じて規制範囲を判断）。
			レベル2 火口周辺 規制		火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。	火口周辺への立入規制等（状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断）。
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 活火山である ことに留意		火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	通常の生活。	特になし（状況に応じて火口内への立入規制等）。

登山時の心構え

近年、登山ブームの到来により、山を訪れる方は年々増加していますが、自身の安全を守り、楽しい登山とするためにも、以下のことに注意しましょう。

- 規制区域や警戒区域には決して立ち入らないようにしましょう。自己判断は禁物です。
- 入山規制、避難指示等には必ず従い、安全第一の行動を心がけましょう。
- 火山活動は刻々と変化するため、常に最新の情報を入手するよう心がけましょう。

詳しくは、総務課 防災係まで。